

第37回小豆島オリーブマラソン全国大会

開催日:平成26年5月25日(日)

場所:香川県小豆郡小豆島町

種目	名前	学年	記録	着順	備考
ハーフマラソン 30歳未満	渡部 貴江	1年	1時間26分02秒	1	
	港 菜月	2年	1時間26分02秒	2	
10km 30歳未満	越水 香菜美	1年	37分56秒	1	
	角田 凖彩	1年	45分18秒	3	
5km 30歳未満	水元 みのり	1年	17分55秒	1	大会新記録

【山本コメント】

上半期のトラックシーズンの最中ではあるが、港の出身地で開催される市民マラソン大会に、5名の部員が出場した。本大会は約5000人のランナーが全国から集う大会であり、市民ランナーの間でも人気が高い。レース当日、大会会場では、部員たちは多くの方々に声をかけていただいていた。

ハーフマラソンでは、渡部と港が同タイムの1位、2位でゴールした。渡部は初めて、港は4度目のハーフ出場、2人とも暑いコンディションの中でも最後までペースを落とすことなく、元気にゴールした。2人とも長い距離に対する適性は高い。さらにレース経験を積んで、長い距離のレースで力を発揮するコツを習得し、駅伝レースにつなげてほしい。

10kmでは、越水と角田が、それぞれ1位と3位でゴールした。越水は2週前の関西インカレ10000mに続く10kmのレース経験であり、今回は暑い中でしっかりと力を発揮できた。角田はまだ調子が上がらない中でのレースでありタイムは物足りないが、このレースをきっかけのひとつにして、これから調子を上げていけるよう期待する。

5kmでは、水元が1位でゴールした。3週連続レースの3週目と、疲労が蓄積している中でのレースであったが、現状の力を着実に発揮できた。春先は故障で出遅れている感があったが、5月に入ってからレースでも練習でも着実に積み上げができており、今後のレースにさらに期待したい。

日差しがたいへん強く、暑いコンディションの中でのレースであったが、3部門とも、昨年に部員たちが出したタイムを大きく上回ってゴールできたことは自信にしてもらいたい。市民ランナーの皆さんと一緒に走って、語りあった中で考えたことを、上半期後半のトラックレース、秋の駅伝レースにつなげていってほしい。